

牧草及び飼料作物の適応性試験

(17) 極早生えん麦の耐冠さび病品種選定試験

庄子一成 池田正治*

I 要 約

ホールクロップサイレージ用の極早生えん麦の耐冠さび病品種を選定するため、沖縄本島北部で1993年から1995年まで2回試験したところ、次の結果を得た。

サビツヨシは熟期がハヤテよりもやや遅いものの、冠さび病の発生が認められず、有望と判断された。

II 緒 言

えん麦の耐冠さび病品種の選定については、前報¹⁾で極晩生種のとちゆたかを適品種とし、利用法は刈りが適当と報告した。極早生種については総じて冠さび病に弱く、糊熟期以降で刈取りしようとするると生育後期に冠さび病が発生するため、安定的にホールクロップまでもってゆくのは難しいことが明らかになった。

そこで今回、耐冠さび病品種として新しく市販されたサビツヨシを、極早生種の中では比較的冠さび病に強かったハヤテと比較した。

III 材料及び方法

牧草・飼料作物系統適応性検定試験実施要領(改訂2版)²⁾に準拠し、以下のとおり実施した。

1. 試験期間と試験地

沖縄本島北部の今帰仁村に所在する沖縄県畜産試験場の圃場で、1993年10月から1995年3月まで、2回実施した。

2. 供試品種

供試品種はサビツヨシとハヤテである。

3. 一区面積及び区制

1区6㎡、4反復、乱塊法、うち調査面積は1993年播種については2.5㎡、1994年播種については6㎡とした。

4. 耕種概要

1) 播種量及び播種法

1993年は10a当たり10kg、1994年は8kgを散播した。

2) 施肥量及び施肥法

10a当たり3.7tの牛ふん堆肥(乾物率60%)とBM燐を25kg施用し、ローターベータですきこんだ。その後、N、P₂O₅、K₂Oをそれぞれ配合肥料(18-9-18)で10、5、10kg表面に散布し播種床とした。

5. 調査項目

冠さび病の発生程度と熟度、刈取り時の熟度、乾物収量

IV 結果及び考察

1993年度

10月1日に播種した。播種後適度の降雨があり³⁾、全区一斉に発芽した。その後も適度の降雨があり、生育も順調

* 現沖縄県農林水産部畜産課

であった。両品種とも倒状が多かった。12月初旬にハヤテにさび病の発生が観察された。そのときは乳熟期から糊熟期だったが、その後鳥による穂の食害がひどく、熟期の判定が難しくなった。1月初旬にはハヤテのさびがひどくなったので両品種とも刈り取った。そのときサビツヨシにはさびの発生は認められなかった。

表-1 1993年度

	発芽期	発芽の 良 否	12/13		1994年 1/7				
			冠さび病 発生程度	熟 度	冠さび病 発生程度	草丈cm	生草収量 kg/10 a	乾物率%	乾物収量 kg/10 a
サビツヨシ	10/7	1.0	1.0	6.5	1.0	103	3320	14.4	479
ハ ヤ テ	10/7	1.0	2.0	6.5	7.5	102	3010	15.4	463

注1) 発芽の良否は良を1、不良を9とする評点法

2) 冠さび病発生程度は無又は微を1、甚を9とする評点法

3) 熟度は未出穂を1、完熟を9とする評点法

1994年度

11月2日に播種した。播種後しばらく降雨がなく、降雨後一斉に発芽した。発芽は良好だった。両品種とも倒伏が多く、そのためか登熟が遅かった。さび病は3月からハヤテに認められた。刈り取り時のさび病程度はハヤテはひどかったが、サビツヨシには認められなかった。

表-2 1994年度

	発芽期	発芽の 良 否	1995年 3/1			収 穫 期						
			冠さび病 発生程度	熟 度	倒 伏	冠さび病 発生程度	熟 度	倒 伏	草丈cm	生草収量 kg/10 a	乾物率 %	乾物収量 kg/10 a
サビツヨシ	11/14	1.0	1.0	2.5	5.8	1.0	5.3	2.8	123	3840	21.3	817
ハ ヤ テ	11/14	2.0	2.0	3.8	5.3	7.8	6.5	4.3	129	4840	20.3	985

注1) 収穫期はサビツヨシは3/29、ハヤテは3/14

2) 倒伏程度は無又は微を1、極多を9とする評点法

3) その他の評点法は表-1に同じ

2回の試験結果から、サビツヨシは熟期がハヤテよりもやや遅いものの、冠さび病の発生が認められず、収量はハヤテと同程度で適品種と判断された。

なお、今回の試験では倒伏が多かったが、施肥量が多かったためで、実際には倒伏は少ない¹⁾ものと思われる。

V 引用文献

- 1) 庄子一成・与那覇龍雄・池田正治、1990、牧草及び飼料作物の適応性試験(10)えん麦の耐冠さび病品種選定、沖縄畜試研報、28、123~131
- 2) 農林水産技術会議事務局、1990、牧草・飼料作物系統適応性検定試験実施要領(改訂2版)、40~42
- 3) 沖縄气象台、1993~1995、沖縄気象月報、4~5